

なかとんべつ 町議会だより

Volume

235

令和8年4月24日発行



第1回定例会議決結果の一覧	3
私たちの一般質問	4
議決審議のあらまし	8
第1回、第2回臨時会、常任委員会	11
予算審査特別委員会	12
議員だより	17
議員の活動実績・議会の動き・あとかき	18

写真提供：五家 亨さん

令和8年 第1回定例会



令和8年第1回定例会が、3月6日から19日まで14日間の会期で開かれました。



町政執行方針を表明する
小林町長

招集日の3月6日には、諸般の報告、行政報告、固定資産評価審査委員会委員の選任、条例（一部改正含む）、令和7年度補正予算などを、原案どおり同意及び可決し散会しました。3月16日には、条例（いきいきふるさと常任委員会付託分）、令和7年度補正予算を可決しました。

3月17日には、小林町長が令和8年度町政執行方針、大島教育長が令和8年度教育行政執行方針を表明、一般質問を通じて4名の議員が町長、教育長の所信を質（ただ）しました。



教育行政執行方針を表明する
大島教育長

本会議休会中の3月17日～19日に令和8年度各会計予算案を全議員で構成する「予算審査特別委員会」（蓮尾純一委員長）で審査。委員会審査を経て、再開された本会議で全8会計（10議案）予算を原案どおり可決、全日程が終了し3月19日に閉会しました。

- ① 中頓別町におけるライフラインの老朽化について
- ② 部活動の地域移行について
- ③ 町のお金の使い方に再び不満、不安の声、今後どう応えていくのか
- ④ 令和8年度からの医療報酬、介護報酬改定による影響及び今後の町の医療介護の方針について
- ⑤ 財政シミュレーションの今後の見通しは
- ⑥ 人口減少に対する具体的な対応策があるのか
- ⑦ 町民の高齢化による生活インフラの整備の状況

- ①② （長谷川議員）
- ③ （宮崎議員）
- ④ （高橋議員）
- ⑤⑥⑦ （蓮尾議員）
- 4議員が一般質問

第1回定例会で 決まりました



議決結果の一覧

○ 同意第1号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意

※ ○ は同意

○ 議案第3号 犯罪被害者等支援条例

○ 議案第4号 鳥獣被害対策実施隊設置条例

○ 議案第5号 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

○ 議案第6号 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

○ 議案第7号 こども支援センター設置条例

○ 議案第8号 養護老人ホーム長寿園・特別養護老人ホーム長寿園運営委員会条例

○ 議案第9号 各委員会の委員等の報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例 (一部改正)

○ 議案第10号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例 (一部改正)

○ 議案第11号 税条例 (一部改正)

○ 議案第12号 財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例 (一部改正)

○ 議案第13号 地域づくり活動支援補助金条例 (一部改正)

○ 議案第14号 酪農振興支援条例 (一部改正)

○ 議案第15号 商工業振興支援条例 (一部改正等)

○ 議案第16号 国民健康保険税条例 (一部改正)

○ 議案第17号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 (一部改正)

○ 議案第18号 いじめの防止等に関する条例 (一部改正)

○ 議案第19号 過疎地域持続的発展市町村計画の変更

○ 議案第20号 工事請負契約の締結

○ 議案第21号 令和7年度一般会計補正予算

○ 議案第22号 令和7年度自動車学校事業特別会計補正予算

○ 議案第23号 令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算

○ 議案第24号 令和7年度国民健康保険病院事業会計補正予算

○ 議案第25号 令和7年度水道事業会計補正予算

○ 議案第26号 令和7年度下水道事業会計補正予算

○ 議案第27号 令和7年度介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算

○ 議案第28号 令和7年度介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算

○ 議案第29号 令和7年度介護保険事業特別会計(施設介護サービス事業勘定)補正予算

○ 議案第30号 令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算



ここが聞きたい、知りたい 私たちの一般質問

第1回定例会は、町長が令和8年度における町政執行方針、教育長が令和8年度における教育行政執行方針をそれぞれ表明。4議員が一般質問を行いました。

長谷川 克弘 議員



中頓別町におけるライフラインの老朽化について

質問

私たち町民の毎日の暮らしは、水道や下水道、道路、橋などのライフラインによって支えられています。これらは、普段あまり意識することはありませんが、ひとたび不具合が起きると、生活に大きな不安や不便をもたらします。中頓別町においても、多くのライフラインが整備されてから長い年月が経過しており老朽化が重く影を落としていると、感じる町民も少なくないと思います。そこで、町民の安心・安全な生活を守る観点から次の点について伺います。

町の主要なライフラインについて、現在どのような状況にあるのか？また、老朽化による事故やトラブルを未然に防ぐため、どのような点検や管理を行っているか。限られた財

源の中で、どのような考え方で修繕や更新の優先順位を決めているのか？ライフラインの状況や今後の見通しについて、どのように町民へお知らせしていくのか？以上について、町長のお考えを伺います。

答 弁 ○小林町長

町のライフラインについては、概ね維持管理されていると考えていますが、あわせて計画的に老朽化対策も進めてきているところであります。水道については、昭和54年から56年に整備されたものが多く、老朽化が進んでいることから、水道施設更新計画に基づいて、上水道設備及び導水管の更新を令和6年度で完了している。今後は、老朽化した基幹管路及び市街地配水管、各ポンプ場等を計画的に更新していく予定です。また、漏水調査を継続的に実施し修繕することで事故を未然に防いでいきます。下水道管路については、閉塞を未然に防ぐため、管路洗浄を実施していきます。

ライフライン全体について、定期的な点検、パトロールを実施し町民生活に支障が生じることのないよう適切な管理に努めていきます。



部活動の地域移行について

質問

現在、全国的に中学校の部活動を地域へ移行する動きが進んでいます。子どもたちがこれまで通り安心して活動できるのか、保護者の負担は増えないのか、地域の受け皿は整っているのかなど不安の声も聞かれます。

そこで、町としての考えと今後の進め方について伺います。部活動の地域移行に対する基本的な考え方と現在の検討状況、また小規模自治体において活動種目の確保や広域連携をどう進めていくのか？さらに、指導者の確保や安全管理体制についての関りや保護者の経済的・送迎負担への支援策について子どもたちが安心して活動を続けられる環境づくりをどう進めていくのか？地域展開の条件が整うとはどのような状況と認識されるのか？以上について、教育長のお考えを伺います。

答 弁 ○大島教育長

中学校部活動の地域移行は、少子化の進行や教職員の働き方改革を背景に、国の方針のもと持続可能な活動体制を構築することを目的として進められているものです。

当初は学校部活動を学校から地域へ「移す」という意味合いで「地域移行」という表現が用いられてきましたが、現在は部活動をより広く地域に開き新たな価値を創出しより豊かな幅広い活動に転換していくという考えのもと「地域展開」という表現が用いられています。

本町におきまして子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を将来にわたリ確保していく観点から重要な課題であると認識しています。小規模自治体である本町においては、単独で多様な活動種目を維持することは容易ではありません。そのため活動種目の重点化や合同チームの編成、近隣自治体との広域連携など現実的かつ持続可能な仕組みづくりが必要であると考えています。

地域の実情を踏まえながら段階的に進めることを基本とし、何より子どもたちの学びと成長の機会を最優先に取り組んでいきます。



宮崎 泰宗 議員



町のお金の使い方再び不満、不安の声、今後どう応えていくのか

質問

本町の一般会計総額、今年度は58億円と、前年度との比較で13億円近く増加し一気に過去最大を更新したが、それを大幅に塗り替え一般会計だけで94億円を超える予算案が大きく報じられた。これに対して例えば今年度はついに出生ゼロと、子どもの人数が大きく減少している中で高額な学校づくりの費用ばかりが際立つという、何とも言えない状況となっている一方で、高齢化率40%を超える町が医療福祉提供体制の方向性を明確に打ち出せていないというのはいかがなものか。

また、近年、多くの町民の方々が求めているのは、おそらく火葬場の建て

替えではないか。令和5年のアンケートで、テーマの合葬墓より火葬場の再整備等に関する要望、苦情に近い内容が多く、町民が求める優先順位の高さも認識されながら、未だに改善されていないのは何故か。もう3年近くも置き去りとなっており、本来学校よりも先に進められてもおかしくないことであると思うが、町長は今の町の声をどう捉え、どのように応えていくのか。

学校については、全国的に教員不足が深刻になりつつあると思うが、4月以降の教職員の体制については、どのような状況か。動向が気になりな同窓会の関係では動きがあったようなので、これについても改めて伺う。

答 弁 ○小林町長

新しい学校の建設は、80年に一度の事業と考えており、将来の公債費負担をできる限り軽減する対策を講じた上で取り組んだもので、建設物価の急激な上昇もあり想定を超えた事業費になっているが、教育施設全体の将来負担を考えると合理的な選択だったと思っている。財政負担がないとは言えないが、住民サービスを低下させることは想定しておらず、これにもなって各種料金も税も引上げることとは考えていない。

全国的に進む少子化、人口減少を止めることは容易ではないが、町として

取り組んでいる子育て支援や教育の充実のための施策が、将来のまちづくりを支えていくものと確信している。持続可能な地域ケアサービス（医療や介護を含めて）の構築に向けて取り組み、最後まで安心して住み続けられるまちにしていくための取り組みにも邁進し、令和8年度では、町民のみなさんの声に耳を傾けながら一体的な改革の道筋をつけていきたいと考えている。

火葬場については、検討が進んでおらず申し訳なく思っているが、昭和51年の建物で、耐用年数をすでに10年経過していることから、建替えや近隣の施設を利用させてもらうことを含めて検討する必要があると考えている。懇談会を開催するなど町民のみなさんの意見を聞いた上で、できるだけ早い着手をめざしていく。

答 弁 ○大島教育長

義務教育学校となる4月からの教職員の体制、人数的な部分については現在の小中2校分と基本的には変わらず、今のところは配置基準についても確保できている状況である。

新年度からは中頓別学園同窓会として、中小、中中の同窓会についても統合する形となり、規約や役員体制、今後の同窓会の活動等の詳細については4月以降に話し合われることとされている。

高橋憲一議員



令和8年度からの医療報酬、介護報酬改定による影響および今後の町の医療介護の方針について

質問

中央社会保険医療協議会の答申により令和8年度から医療報酬ならびに介護報酬の改定が示され、現在検討中の町の地域包括ケアシステムに対する影響をどのように捉えているかお伺いします。無床診療所化は避けられないのか、また介護医療院、救急医療対応は。また今回の改定の方向性の中で示されている、病院DX化や、オンライン診療、地域間の役割分担などの取り組みによって、住民が安心して医療や介護のサービスを受けられる体制を構築できるのか伺います。

答 弁 ○小林町長

人件費や物価高騰への対策として行われたものだと考えています。医療報酬や介護報酬が改定されたことは良かったと思いますが、条件不利地域に対する手厚い措置を求めて他市町村とともに要望していきます。ただ、これが今後の見直しの方向性に大きく影響するとは思えません。最終的には決まっていますませんが、想定できるあらゆる選択肢を丁寧に検証するとともに、町民の皆様のご意見を伺いながら決めていきます。



蓮尾純一議員



財政シミュレーションの今後の見通しは

質問

人口減少の中、保健福祉事業等、様々な実施中の事業を今後も継続できる財源確保や歳出削減の見通しは立っているのかお伺いします。中頓別学園建設についての今後の財政的負担についてもお伺いします。町民はもとより、公共事業を請負う事業者などへも今後の財政シミュレーションは非常に重要なものとなりますので開示をお願いします。

答 弁 ○小林町長

全ての事業について検証を行った上で、必要に応じてこれからも続けなければならぬと考えています。地域医

提供体制と地域包括ケアシステムの構築についても方向性を出します。また、行政改革本部立上げについて着手します。財源確保、歳出改革に向けて事業費の大きなものから見直しに着手し、新たな財政シミュレーションの公表を行います。中頓別学園建設については設計変更を最小限にとどめ、財源を確保するとともにふるさと納税の充当を予定しています。今後も持続可能な行財政の運営に向けた改革に取り組みます。

人口減少に対する具体的な対応策があるのか



質問

具体的な人口減少対策が町民に見えていません。現実的な具体策もしくは、町民の幸福度を重視するなど、町長の考える対応策や方向性をお伺いします。この町に住み続けられるだろうか、町の将来は大丈夫だろうか、人口減少を町民は漠然と不安に思っています。人口減少は全国的な課題ですが、将来の

展望をしっかりと持っている自治体もあります。コンサルによるまちづくりが、成果を上げているとは言えない現状の中、まちづくりのゴールも見えないままのコンサル依存について町長はどのようにお考えかお伺いします。

答 弁 ○小林町長

人口減少の中でも豊かに暮らし幸福度を高める取り組みを行っています。選挙公約や執行方針、広報などでお伝えしてきました。しかし目に見える成果につながっていない現状と受け止めています。人口減少について受け入れつつ、食い止める努力を続けることが必要だと考えています。求められるのは人口減少の克服ではなく、人口減少を前提とした持続可能社会への適応であると考えています。コンサル活用については依存しているとは思っていません。高度な分析などで活用する必要がもう少しあると考えています。町職員には能力など、住民には関心などが残ると思っています。今後は現在取り掛かっているものを最後に職員による自走が定着できるように努めていきたいと思っています。



町民の高齢化による生活インフラの整備の状況

質 問

町民の高齢化により普通の生活が難しくなっている場面が多くなっています。高齢者の日常生活のインフラ整備に目が届いていないように感じます。一例を挙げると、ゴミの分別などに関する問題、通院に関する町外への交通の問題、町内では賄えない買い物や自治会から課題を聞いていないのではなく、行政が自ら把握する必要ががあります。今後の更なる高齢化に対応したインフラ整備の体制について現在どのようにお考えかお伺いします。

答 弁 ○小林町長

ゴミの分別の見直しは新たな費用負担も含め難しいと考えています。地域サポート事業でお手伝いできる仕組みがあります。できるだけだけの努力をしていただくことを基本に個別の支援で対応していきたいと考えています。

自治会と連携

は取れていて課題があれば町に伝わるようになっていきます。生活インフラ全体についてですが、



質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



届いた声や解消が困難となっていることに向き合うとともに、今後も町民の日常生活における悩みや課題、困難に向き合っていくように努めていきたいと考えています。

議会を傍聴しましょう!

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、6月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。



議決審議のあらまし

第1回定例会では、新年度予算など38議案を審議しました。

令和8年度各会計予算は、予算審査特別委員会（蓮尾純一委員長）に付託して審査され、全会計原案どおり可決しました。

令和7年度各会計補正予算とその他の条例改正案等は本会議（一部いきいきふるさと常任委員会付託）で審議され、すべて原案どおり可決しました。

3月6日議決

○同意第1号 固定資産評価審査委員会委員の選

任同意

5月28日に任期満了を迎える委員を再任することに全会一致で同意。

字中頼別 鈴木義博さん

任期 令和8年5月29日～令和11年5月28日

○議案第3号 犯罪被害者等支援条例

犯罪等により被害を受けた方及びその家族や遺族の方を支援するため制定するもの。

○議案第4号 鳥獣被害対策実施隊設置条例

鳥獣被害防止対策を効果的に推進するため、鳥獣被害対策隊を設置し、野生鳥獣による被害の軽減と生活環境の確保を図るため制定するもの。

○議案第5号 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準その他の認可の基準を定めるため制定するもの。

○議案第6号 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法の一部改正により、乳児等のための支援給付が創設されることに伴い、給付に係る特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるため制定するもの。

○議案第9号 各委員会の委員等の報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例（一部改正）

鳥獣被害対策実施隊設置条例の制定に伴い、報酬額を新たに定めるため改正を行うもの。

○議案第10号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例（一部改正）

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律が施行されることに伴い、所要の改正を行うもの。

○議案第11号 税条例（一部改正）

標準化された納税通知書や納付書のレイアウトが4期割での運用となることに伴い、本町の町税納期について所要の改正を行うもの。

○議案第12号 財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例（一部改正）

財源の確保において、財政調整基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用する必要があることから改正を行うもの。

○議案第13号 地域づくり活動支援補助金条例（一部改正）

地域づくりを推進する事業に対して補助金を交付する制度の継続を行うため期限の5年間延長を行うもの。

○**議案第14号 酪農振興支援条例（一部改正）**

助成金の要件及び再申請を可能とする規定を追加。また、条例の期限を延長するため改正を行うもの。

○**議案第16号 国民健康保険税条例（一部改正）**

一部を改正する政令が公布されたことに伴い、一部改正するもの。

子ども子育て支援法の施行に伴い、健康保険条例において一部改正に係る制度が開始され、新たに子ども・子育て支援納付金が追加となることから改正を行うもの。（子ども子育て支援分、所得割0.29、均等割1千円、平等割1千円）

○**議案第17号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例地域づくり活動支援補助金条例（一部改正）**

令和8年4月より中頓別小学校及び中頓別中学校が義務教育学校「町立中頓別学園」に移行するため改正を行うもの。

○**議案第18号 いじめの防止等に関する条例（一部改正）**

令和8年4月より中頓別小学校及び中頓別中学校が義務教育学校中頓別学園に移行するため改正を行うもの。

○**議案第19号 過疎地域持続的発展市町村計画の変更**

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の規定に基づき、過疎地域としての財政上の優遇措置等を活用するため、中頓別町過疎地域持続的発展市町村計画の計画期間及び計画内容を変更するもの。

○**議案第21号 令和7年度一般会計補正予算**

歳入歳出の総額からそれぞれ2億2千295万8千円を減額し、予算の総額は62億5千352万7千円に。

決算見込に基づく追加、減額のほか、コミュニケーション施設の備品購入及び総合行政システム改修委託料の追加、国保病院に対する繰出金5千130万円を追加し病院費総額を2億8千486万円とするもの。

○**議案第22号 令和7年度自動車学校事業特別会計補正予算**

歳入歳出の総額からそれぞれ333万円を減額し、予算の総額は6千763万円に。決算見込に基づき追加、減額するもの。

○**議案第23号 令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算**

歳入歳出の総額にそれぞれ62万円を追加し、予算の総額は2億3千612万円に。決算見込に基づき追加、減額するもの。

○**議案第24号 令和7年度国民健康保険病院事業会計補正予算**

病院事業収益は、収入で入院収益を932千円、外来収益を5千190万円減額。一般会計繰入金として5千131万円を追加し、繰入金総額2億8千359万円に。予算総額は6億1千31万円に。他の支出は、決算見込に基づく追加、減額するもの。

○**議案第25号 令和7年度水道事業会計補正予算**

歳入歳出の総額にそれぞれ1千137万円を追加し、予算の総額は1億6千681万円に。

決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第26号 令和7年度下水道事業会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ1千108万円を

追加し、予算の総額は1億4千203万円に。決算見込に基づき追加、減額するもの。

決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第27号 令和7年度介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ3千799千円

を減額し、予算の総額は2億2千672万円に。決算見込に基づき追加、減額するもの。

決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第28号 令和7年度介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ193万円を減

額し、予算の総額は5千824万円に。決算見込に基づき追加、減額するもの。

込に基づき追加、減額するもの。

3月16日議決

○ 議案第29号 令和7年度介護保険事業特別会計(施設介護サービス事業勘定)補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ1千174万円

を減額し、予算の総額は2億2千741万円に。決算見込に基づき追加、減額するもの。

○ 議案第30号 令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ281万円を減

額し、予算の総額は3千890万円に。決算見込に基づき減額するもの。

込に基づき減額するもの。

○ 議案第20号 工事請負契約の締結について

準用河川平賀内川災害復旧工事にかかる契約の締結

○ 議案第7号 こども支援センター設置条例

身の発達において特別な配慮が必要な幼児及び学齢児童に対し、多機能型事業所を設置し総合的に支援を行うため制定するもの。

○ 議案第8号 養護老人ホーム長寿園・特別養護老人ホーム長寿園運営委員会条例

養護老人ホーム長寿園・特別養護老人ホーム長寿園の経営改善の検討のため制定するもの。

○ 議案第15号 商工業振興支援条例(一部改正等)

条例の期限の延長及び規定の拡充に加え、新たな補助規定を創設し、商工業継承者支援条例と統合するため改正等を行うもの。

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会** へ進みご覧ください。

議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、
Tel6-2244(議会事務局)へ。

令和8年第1回臨時会（2月3日）

令和8年第1回臨時会が2月3日に招集され、選挙1件、承認1件、議案2件を選挙、承認及び原案どおり可決しました。

- 選挙第1号 南宗谷衛生施設組合議会議員の選挙
- 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（一般会計補正予算 令和8年1月20日専決）
- 議案第1号 一般会計補正予算
- 議案第2号 水道事業会計補正予算

令和8年第2回臨時会（3月26日）

令和8年第2回臨時会が3月26日に招集され、議案5件を原案どおり可決しました。

- 議案第41号 国民健康保険条例（一部改正）
- 議案第42号 一般会計補正予算
- 議案第43号 水道事業会計補正予算
- 議案第44号 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算
- 議案第45号 介護保険事業特別会計（施設介護サービス事業勘定）補正予算

いきいきふるさと常任委員会報告（3月16日）

いきいきふるさと常任委員会（長谷川克弘委員長）は、第1回定例会休会中に付託審査を実施しました。

審査事項

- ① こども支援センター設置条例の制定について
- ② 養護老人ホーム長寿園・特別養護老人ホーム長寿園運営委員会条例の制定について
- ③ 商工業振興支援条例の一部を改正する等の条例の制定について

審査意見

- ① グレーゾーンと言われる子どもたちに対して支援センター設置と同様に増加している調査とサポート体制の充実も並行して実施するよう求める。
- ② 委員の人選について経営の専門知識を持った改善を担える人材を登用することを求める。また、委員会設置において定期的な会議体としての活動を求める。
- ③ 支援メニューにより補助率が減少している部分について、国及び道からの支援メニューを合わせて提供できるように求める。



令和8年度 8会計予算成立

～総額114億2,636万円～



予算審査特別委員会（蓮尾純一委員長）

一般会計をはじめとする令和8年度8会計予算案は、全議員で構成する「予算審査特別委員会」（蓮尾純一委員長）に審査を付託。
特別委員会では、3月17日～19日に審査を行い、原案可決。
19日に再開された本会議で蓮尾委員長から報告され、審議の結果、委員長報告のとおりすべて原案可決されました。

令和8年度予算編成内容

本年度の予算総額は、114億2,636万円で前年度比34億9,561万円（44.1%）の増額となりました。一般会計は、前年度比36億3,961万円（62.7%）の増額であります。

歳入では、大半を占める地方交付税は町債借入れの増加に伴う公債費の増などを踏まえ、前年度比1億1,207万円の増額としています。国庫支出金では、公立学校施設整備費負担金や学校施設環境改善交付金など中頓別学園整備にかかる予算計上により1億2,342万円の増額、繰入金では、対象事業費の増加による公共施設整備等基金繰入金の増などにより1億6,812万円の増額、町債では、過疎対策事業債の増などにより32億20万円の増額となっています。

歳出では、人件費において人事院勧告による給与増により1,013万円の増額となりました。繰出金では、自動車学校事業特別会計、介護サービス事業会計繰出金などの増により600万円の増額となりました。普通建設事業費では、中頓別学園建設工事の増などにより、29億8,394万円の増額となりました。

■各会計予算の状況

（単位：万円）

会計別	年度別	令和8年度 予算額	平成7年度 予算額	比較	
				金額	率%
一般会計		94億4,504	58億0,542	36億3,961	62.7
自動車学校事業特別会計		6,289	5,976	313	5.2
国民健康保険事業特別会計		1億8,870	2億3,509	▲4,639	▲19.7
国民健康保険 病院事業会計	収益的収支	5億9,215	6億0,295	▲1,080	▲1.8
	資本的収支	1,978	1,714	263	15.4
水道事業 特別会計	収益的収支	1億5,829	1億4,118	1,710	12.1
	資本的収支	1億5,398	1億6,063	▲665	▲4.1
下水道事業 特別会計	収益的収支	1億3,357	1億2,254	1,102	9.0
	資本的収支	1億0,673	1億9,960	▲9,288	▲46.5
介護保険事業 特別会計	保険事業勘定	2億3,635	2億5,555	▲1,920	▲7.5
	介護サービス事業勘定	5,728	6,132	▲403	▲6.6
	施設介護サービス事業勘定	2億2,853	2億3,491	▲638	▲2.7
後期高齢者医療事業特別会計		4,309	3,465	845	24.4
合計		114億2,636	79億3,074	34億9,561	44.1

■一般会計

歳入

(単位：万円)

款	8年度	7年度	比較	増減%
町税	17,338	16,797	541	3.2
地方譲与税	7,602	7,752	▲150	▲1.9
地方交付税	243,997	232,790	11,207	4.8
使用料手数料	8,369	8,143	226	2.8
国庫支出金	73,356	61,014	12,342	20.2
道支出金	19,915	22,179	▲2,264	▲10.2
財産収入	2,760	1,519	1,241	81.7
繰入金	50,358	33,546	16,812	50.1
諸収入	16,664	13,733	2,931	21.3
町債	488,790	168,771	320,019	189.6
その他	15,355	14,298	1,057	7.4
合計	944,504	580,542	363,962	62.7



歳出

(単位：万円)

款	8年度	7年度	比較	増減%
議会費	5,134	5,160	▲26	▲0.5
総務費	90,533	94,108	▲3,575	▲3.8
民生費	55,123	39,967	15,156	37.9
衛生費	51,152	49,843	1,309	2.6
労働費	889	909	▲20	▲2.2
農林水産業費	40,044	45,077	▲5,033	▲11.2
商工費	12,993	23,947	▲10,954	▲45.7
土木費	70,960	63,255	7,705	12.2
消防費	14,943	13,385	1,558	11.6
教育費	517,604	168,022	349,582	208.1
公債費	63,353	56,899	6,454	11.3
諸支出金	21,726	19,920	1,806	9.1
その他	50	50	0	0
合計	944,504	580,542	363,962	62.7



予算計上された主な臨時事業

(単位：万円)

科目・会計	臨時事業名	事業費	主な事業内容
総務費	女性・若者活躍推進事業	1,918	人口構造の再構築、コミュニティの再構築・強化
	町民活動支援・展開事業	2,116	モトマツダ維持管理運営経費、町民活動支援業務委託料
民生費	こども支援センター事業	2,972	発達の支援を必要とする子どもが育ち上の課題を把握、理解しながら支援を行う事業
農林水産業費	哺育育成センター運営事業	1,323	飼料収穫委託、備品
土木費	除排雪事業	15,300	歩道用ロータリー購入、除排雪委託
	秋田原野線交付金事業	8,215	道路改良舗装工事など
教育費	中頓別学園整備事業	467,937	学校建設工事（令和8年度分）、備品購入、学校建設工事管理業務委託等

予算審査特別委員会 主な質疑&答弁



○ 一般会計

歳出

■総務費

問 広報の丁合機が導入されて町民の方の負担が減り助かっているところですが、回覧の回数が減っており何か工夫をしていると思われるのですが、こういった工夫をしているのか伺いたい。

(宮崎委員)

答 丁合機については、スムーズに動いており今後も続けていきたい。回覧についてはチラシとして旬報等に織り込むなど極力回覧をなくしていく取り組みをしています。

(政策経営課担当課長)

問 4月から住所や名前の変更登記が義務化され罰則もありますが、町内に対象となる土地はどれくらいあるか。また、亡くなった方の土地の課税に対する相談や支援についてどう考えているか伺いたい。

(宮崎委員)

答 数字的なものは、把握していませんが、町の登記情報からある程度の件数は把握できると思います。現在まで、登記変更などはしっかりとされていると考えており、登記の完了の通知が来た段階で納税者の変更等確認しています。

(総務担当課長)

登記の移動というのは、法務局の管轄となっており宛名情報については、町が管理しているものですが、制度とは若干

離れるものとなっているところです。

(総務課長)

問 防災対策事業について、2月に実施した防災訓練の反省点について伺いたい。議員も参加したが、今後は、消防団や自治会向けの避難訓練を実施してはどうか。

(宮崎委員)

答 厳冬期における災害を想定した避難訓練で、町民に避難所での辛さや課題を知ってもらうこと及び職員が避難所開設に係る作業について住民参加を呼びかけることも含め避難所を円滑に運営することができるかなど、実験的な意味合いもありましたので、今後は繰り返し実施して行きたいと考えています。

(総務担当課長)

問 AI公務員について、実際使えるものなのか、発展途上のものなのか伺いたい。

(宮崎委員)

答 現在、5人のAI公務員を作っておりもう少しで投入できる状況となっております。実際使えるものとして次年度は20程度のエージェントの作成について検討中です。

(総務担当課長)

■民生費

問 こども支援センター事業について、現在児童発達支援管理責任者の資格を有している職員が1人しかおらず、今後、他の職員が資格を順次取得するよう展開していく考えがあるのか伺います。また、保育士は足りているのかについても伺い

ます。

(星川委員)

答 こども支援センターに児童発達支援管理責任者は、必ず置かなければならないこととなっておりますので、計画的に研修を受けられるよう取り組んでいきます。

(保健福祉担当課長)

保育士の配置について、次年度は規定では足りており、令和8年度に出産される方もいるということで、今後は保育士の確保も含め体制について考えていきます。

(教育長)

■衛生費

問 環境保全活動推進事業について、特定外来生物、特に植物について町有地などにはびこっている植物の今後の対策や生態系に及ぼす影響はないか伺います。

(長谷川委員)

答 植物(オオハングソウ)の対策については、数年実施しても状況が変わらず現状維持となっております。町内で申し出があれば除草剤の在庫がありますので、それらを使用していく考えであります。淡水魚への影響に関しては、学習会や調査の結果により影響はほとんどないということで周知しており、植物の対策については継続が必要と考えております。

(総務担当課長)

問 墓地について、現在の管理人が長期不在となった場合を考慮し、業者などに請け負ってもらった方が良いと思うがどうか考えているか伺いたい。

(星川委員)

答 火葬場の問題と合わせて管理の委託などを含め体制を検討していかなければならないと考えております。
(総務担当課長)

問 子宮頸がん検診委託料について、ワクチンによる予防がある程度可能となっているが、町の助成と受診率について伺います。
(蓮尾委員)

答 子宮頸がんワクチンはA類の予防接種にあたるため、他の町と同様の補助が受けられる体制となっております。受診率については、低い状況にあり数人程度となっております。
(保健福祉担当主幹)

問 健康づくり講座に呼んでいる講師が健康づくりに関係があるのか。本来の意義や選定基準について伺う。
(蓮尾委員)

答 健康づくりにゆかりのある方を選定しており、皆さんが知っている方の講座を通して健康の推進に興味を持っていただくことが目的であり、そういった気持ちを持っていただけるよう講師の選定をしていきたいと思います。
(保健福祉担当主幹)

問 ■労働費
特定地域づくり事業共同組合で派遣可能な職員について現在何名いるのか。また、新年度以降増える要素があるか伺います。
(宮崎委員)

答 現時点では2名の正職員を雇用しています。閑散期もあり現状は2名が最適であると考えますが、継続して検討する課題であります。
(産業課担当課長)

問 ■農林水産業費
保育育成センターについて、運営母体が決まっているのか。また、参加される農家戸数について伺います。
(星川委員)

答 現時点では、運営母体、運営体制について協議中

となっている。具体的にはアンケートについて調査ができていない状況で、早急に集約をかけたいと考えています。
(産業課長)

問 保育育成センターの位置づけを見直した上で、運営について関係者と協議を進めるよう取り扱ってほしい。
(小林町長)

答 6次産業化推進事業について、ぶどうと牛乳の他に新たに3枚目の看板となるようなものを考えているのか伺います。
(宮崎委員)

問 現時点では、牛乳とぶどうの方に集中していきたいと考えていますが、エゾシカの有効活用など支援できるものがあれば考えて報告をさせていただきます。
(産業課長)

問 ■教育費
教職員の校長住宅の建設について、建設工事費が約6千100万円となっているが、高くなっている要因を伺う。
(星川委員)

答 近年の建築費と公共工事による経費、また現在建っている古い住宅の跡に建てるため解体費用と車庫の設置費用も含まれていることから高くなっております。
(建設担当参事)



予算審査特別委員会

【審査意見】

① 介護医療院含めて今後の医療福祉提供体制の見直しを早急に立てて、町民への説明機会を設けることを望む。また、現状とは異なる積算根拠が曖昧な部分があるので、積算根拠の見直しを実現可能な予算に整理することを望むものである。

② 女性若者活躍推進事業を予算化されているので、行政においても積極的に女性若者の登用を行う予定があるのか見通しが見えないので、行政が先頭に立ち積極的に取り組むよう求めるものである。

③ 物価高騰等経済情勢が変動しているため、予算内に事業を執行するよう意識しより一層の財政の緊縮に努めることを求めるものである。

2月24日（火）の議会運営委員会前に全議員で中頓別学園工事視察を実施しました。



あなたの写真を表紙にしませんか？

中頓別町議会では、町民の皆様が撮影した写真の募集をはじめます。応募いただいた中から選考し「なかとんべつ町議会だより」の表紙とさせていただきます。



応募資格 中頓別町在住の方

募集内容 人物、風景など中頓別町で撮影したもの。中頓別町の魅力や元気が出る写真を募集します。

応募方法 下記アドレスに、件名を「なかとんべつ町議会だより表紙写真」と書き、連絡先（電話番号、氏名、住所）を記入の上、写真を送付してください。



gikai@town.nakatombetsu.lg.jp

募集は随時しております。不明な点は議会事務局（6-2244）まで連絡してください。

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて、思いを綴るものです。

『80年に一度の大事業、中頓別学園

人生100年の学びは子育て支援や施設整備、教育環境の充実で完結するのか？』

町の将来に対して町民の皆さんが不安に感じることが多くなっていると思います。学園整備に伴う大規模予算が先日も取り上げられ、町長からは80年に一度の事業ということ。

中頓別町の町政施行は1949年、昭和24年11月1日のことで、今は西暦2026年、昭和で言うと昨年がちょうど100年だったので丸76年、町になってからではそもそもまだ80年経ってないわけですが、1950年当時は7600人近い人口であったことが分かります。

今の人口は、ギリギリ1400人を保っているというところで、この間、大きく衰退し、平成20年度の決算では実質公債費比率が28.3%と、国の早期健全化基準の25%を上回ったことで財政健全化団体となり、それからの「中頓別町空白の10年」と呼ばれる緊縮財政時代の影響が今も影を落とす形となっています。

この5、6年前までのインフラ整備や、税収の減少が財政を圧迫したことによるとされていますが、時代は繰り返されるのか…。これを体験した町民の方々が不安を覚えるのは至極当然のことなのです。

また、今整備しているのは人生100年の学びの拠点、中頓別学園。これは9年生の義務教育学校だけでなく、人生100年時代と言われる中で図書館や町民センター、教育委員会併設の社会教育、生涯教育の施設でもあるからということではありますが、それはこの町が終の棲家として選ばれることが前提となるものです。医療福祉の選択肢の少なさや過酷な立地、子供達や身寄りのある所へと転出される方も多く、長く町を支えていただいている方々からも学校や町民センターが新しくなっても火葬場があればという声が増えてきているように感じます。建て替えでは6億円ぐらいの工事費になるとのことですが、果たしてそこまでのものを望んでいるのか、ぜひ町長がおじゃましますや議会カフェ、今後の懇談の場などで、ご意見をお聞かせいただけたら幸いです。

学校については同窓会に関しても再度伺いましたが、中頓別学園の同窓会は実際に4月から義務教育学校に通う子どもたちからでいいのではないかと、中小中中の同窓会が中心となって、町内にあった他の学校の卒業生の方々、町外の学校に通われていた町民の方々にも入っていただいて応援できる後援会的な形で統合するほうがいいのではないかと思います。

出生の状況については、史上初となってしまった年度内ゼロ、これはコロナ禍などのマイナスの影響が色濃く出ただけなのか、新年度に見込まれている状況は取り組みの効果なのか、自然的な増減の波なのか、それは9年度以降の結果を見なければ分かりませんが、町の希望を押し付けるのではなく、学校を卒業したら中頓別で就職したい、移住してみたいと思ってもらえるような魅力は、町を支えていただいている皆さんにいつまでもこの町で暮らしたいと思ってもらえてこそ伝わるものであると、改めて思う今日この頃であります。

(綴人 宮崎 泰宗)

議会の動き

令和8年

2月

- 3日 第1回臨時会
- 10日 ペーパーレス化によるシステム説明会
- 14日 認定こども園生活発表会
- 15日 防災訓練
- 18日 議会運営委員会
- 24日 議会運営委員会、中頓別学園工事視察

3月

- 6日 第1回定例会
- 15日 中学校卒業式
- 16日 第1回定例会、いきいきふるさと常任委員会
- 17日 第1回定例会、予算審査特別委員会
- 18日 予算審査特別委員会
- 19日 予算審査特別委員会、第1回定例会小学校卒業式
- 23日 南宗谷消防組合議会（枝幸町）
南宗谷衛生施設組合議会（浜頓別町）
- 26日 第2回臨時会
- 27日 こども園卒園式

4月

- 1日 自治記念式、こども園入園式
- 8日 議会広報編集特別委員会
- 9日 中頓別学園開校式
- 10日 中頓別学園入学式
- 13日 宗谷町村議会議長会定期総会（稚内市）
- 15日 議会広報編集特別委員会
- 20日 商工会青年部との懇談

議員の活動実績と一般質問回数

(令和7年4月～令和8年3月)

議員名	定例会・臨時会		各種委員会等		一般質問回数
	出席義務日数	出席日数	出席義務日数	出席日数	
蓮尾 純一	16	15	22	22	4
吉田 智一	16	16	22	22	1
高橋 憲一	16	16	22	22	4
長谷川 克弘	16	16	22	22	1
宮崎 泰宗	16	16	22	22	4
細谷 久雄	10	10	7	7	3
西浦 岩雄	16	16	30	30	0
星川 三喜男	16	16	22	22	-

- (注1) 議員名は議席番号順（7番目が副議長、末尾が議長）
- (注2) 各種委員会等は、議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会、議会改革特別委員会、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会等を指します。
- (注3) 一般質問は、定例会（年4回）で行われます。
- (注4) 一部事務組合議会議員（西浦副議長、細谷議員、吉田議員、蓮尾議員）の日数は含まれていません。

発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ 〒098-5595
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244 (直通)
fax (01634) 6-1155

編集後記

いつも、3月になると北国にも日差しが少し長くなり、温かい日々の訪れで雪解けが進みやつと厳しい冬から解放されると心も身体もポジティブな気分になってくれるものである。一方で3月は別れの季節でもある。社会人として巣立つ人や高校生は通いなれた学び舎に別れを告げ、進学や就職で仲のいい友達や親元を離れて独り立ちする季節でもある。

しかし、世界はコロナ期間中から紛争や争いが絶えない時代に入ってしまった。法治国家として世界で承認されている国へ突然前触れもなく攻め入ってしまった。「Farewell for Weapon (武器をさらば) 小説の前身はちよこと違っけど。」果たして丸腰で法治国家が未来永劫ありつづけることができるのだろうか？と最近疑問に思うことがある。

ウクライナ侵攻、ベネズエラ侵攻、イラン侵攻で世界は混乱を深めている。その影響で石油製品由来の関連商品が値上がりどころか、調達もままならない時期がやってくるとマスコミは盛んに報道している。折角暫定税率が廃止されたガソリンもその恩恵もつかの間ですぐに値上がり。一般消費者は生活四苦八苦である。コロナが落ち着いたと思ったら値上がりの荒波にもまれていく。いつになったら平穏な社会が訪れるのだろうか。

こんな小さな町に住んでいても世界と深くつながっていることが、悲しいかな！こんなことから再認識させられるものである。

世界中の人々がオリンピックなどで技と力を発揮して競い合いを楽しむ世界になってほしいものだ。オリンピックでは汗を流した後にはお互いをリスペクトするシーンをよく見かける。そんな世界であってほしいものだ。

議会広報編集特別委員会 (西)